

子ども＋親子との接点づくり

子どもたちのイベント実施し親を取り込む
親子参加のイベントを実施することで、交流を図る
少年スポーツを行い、親との交流を図る
長い目で見れば、小学校時代にソフトボールを教え、青年になって監督が勧誘する等
PTAと仲良くする 共同でのイベント
子ども会等と積極的にふれあい 共通の目的を見いだす
コミュニティで親子行事で取り込む

地域外からも小学生以外でもOK 子ども会にあたるクラブを作る
小学校の低学年の家庭に積極的に声をかける

若い世代との接点づくり

若者のイベントを積極的に実施して、興味を引く
若い世代が求めている事項について調査が必要
やる気のある人を引っ張り込む
若い世代を引き込み 褒めてやる
若い人が参加すると早い。解決策も違うものが出てくる
役になるのは最初嫌だった(イメージ)、やっているうちに楽しくなる
若い人に参加してもらうために、若い人と繋がっておかなければならない

参加型の機会づくり

地域の問題を一緒に考える機会を設ける または意見を出してもらう
地域作りを一緒に考える機会を設ける
地域のかかえている課題を一緒に考える機会を設ける
自由に意見が出せるシステムを作る
館員同士のコミュニケーションを深めるためにまず挨拶運動 趣味の集まりをいくつも作り 楽しい場所とする
生活の中にコミュニティの場を設ける
自然と集まれる場 またはコミュニティが出来るようにする
地域内での交流の場を設ける
共同のまち作りの必要
会員間のコミュニケーション 趣味などのサークル
会話をを行う
SNSを使用し、家をでれない(足が不自由等)方に向けて特に独居の方にも参加できる取組が出来たらいいと思う

情報共有・発信

地域の情報紙を作成して、全ての家庭に把握してもらう
公民館との差別化 情報源等
大牟田市から公民館自治会の必要性を広報に載せてもらう
ライン、初期講座はじめる トラブル → ルール
デジタルを活用するための指導をして欲しい
デジタル活用にはまず使用方法の教育が必須では
公式LINEよりオープンチャットを活用
情報発信 何をやっているか知らせる
活用にはルールが必要 トラブル防止として
LINE伝達のルールが必要
LINEを使うことは良い 組長さんにスマホを持っているか確認し、公民館でLINE交換する
LINEの活用 町内会役員
LINEの情報は 行事、会議等の伝達を主とする
高齢者では操作ができない
若い人はできて高齢者はできない
LINEの環境を整える人がいない

負担軽減

館員の人で役員や色々な事が不得手の人には責任のあることをさせない
館員の人で館の仕事はさせない
公民館の中で組長や班長役を外す
町内公民館の中での役割分担
あんなたちは組長せんでよかけん残ってくれをいう
80歳になって 組長免除にする
民生委員との協力体制必要
館費の見直し
高齢者の金銭面の負担を心配させない
一定の年齢になったら役はしなくていい 引き留める方法の一つ
公民館 自治会の役員の身体的負担をへらす
負担を軽くする 行事の取組を考える
負担を軽くする 古い会員さんからの物言いが強い 街の困りごとをまち協で話す
負担を軽くする 自分の意識を変える
ボランティア・負担を軽くするには若い人が加入する
高齢者は免除(役員)
玄関先で受け入れられないから無駄なパワーがいる 不要なパワーは使わない
負担の軽減 役員の役割を明確にすることで気持ち的に楽かも
防犯灯の電気料は市で負担してほしい
公民館長になるとまち協の役もあり兼務が多すぎる

公民館のありかた

公民館の魅力を作る
公民館 自治会の活動内容で 生活の中で必要な事が出来ることを考え実行する
公民館のメリットを作る
公民館 自治会加入メリット
公民館長 その他の役員の役割の明確による
公民館・自治会は本当に必要な組織なのか
公民館長自身の考え方を変え現在のやり方を模索する
市の補助金を増やす、館長の手当を補助する

地域活動のありかた

子どもたちを地域で見守る 高齢者も
年取ってこそ必要 共助
アンチを追いかけない
役員 実行委員が楽しむことにより引き込む
楽しい行事とは、達成感のある(弱い方を少し助けることが出来た等)ものだと考えます。若い人がやりがいの
ある取組ができたらずめないと思うし口コミで広がると思う

分類対象外

公民館行事、会合に出てくると、役員等にされるので男性が参加しない
地域に若手がいても地域の行事に参加してない
役員等になるとパソコンができないので参加しない
まち協の役員の中には、若い世代の人がいない まち協に対する興味が無いように思える
天の原校区小学生全員に保険をかけているが、子ども会に入ることを嫌がる親もいる
公民館で子ども育成費一人あたり 2,000円を支出している
団地公園、通学路などの清掃に子どもを参加を要請している 事前に草をかっているので
1時間で終了
子ども見守り隊など子どもの親は地域任せであり。交通事故の後、親が協力的になった
クラブ活動に参加しているので子ども会に入らない
若い世代で何歳くらいまでいますか 20歳～50歳
公民館長の負担が大きい
まち協役員との兼任による負担増
自助 公助 共助
地域には限界がある
小学校を卒業してしまうと子ども会を退会 公民館もやめてしまう
LINEの会話でのトラブル発生
世代が違う方をどうつなげていくか？
地域のよってはデジタル化もできない、上内は要望してやっと光が来た
手間がかかる
上内校区は家を建てられないから若い人が出ていく
校区の悩み、どこも一緒
お宮の行事など含めると出事もかなり多い
館員が増える、若い人が増えないと負担は減らない